

令和6年度 北九州市立牧山小学校 学校経営方針

学校教育目標

「思いやりの心を持ち、自ら学び自ら考え、心身ともに元気に仲良く活動できる児童の育成」

知 確かな学力
生きる力
個性の伸長

徳 豊かな心
感謝の気持ち
明るいあいさつ

体 健やかな身体
たくましい精神力
強い意志

めざす学校像

- 子どもにとって『行きたい学校』
- 保護者にとって『行かせたい学校』
- 教師にとって『働きたい学校』
- 地域にとって『行ってみたい学校』

めざす子ども像

- がんばりぬく子ども
- じっくり考える子ども
- 思い切り遊べる子ども
- 思いやりのある子ども

めざす教師像

- 教育的愛情に満ち、優しさと厳しさのある教師
- 自ら研修に励み、高い専門性と使命感と情熱をもつ教師
- 教育公務員としての自覚と使命感をもつ教師
- 保護者や地域から信頼される教師

北九州市の指導のポイント

～「こどもまんなか」で、質の高い教育環境の充実を～

令和6年度 新しい学校教育の重点

1. 全ての子どもにとって「居心地の良い学校」をつくる
○特別支援教育の充実 ○安全・安心な学校づくり
2. 失敗を恐れず挑戦し、志と人間力を高められる環境をつくる
○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
○探究的な学習の推進 ○子どもの活力強化
○人材育成・資質の向上 (OJT、SD の工夫)
3. 誰一人取り残さない学びと、先進的な学びを進める
○確かな学力と健やかな体の育成
○グローバル人材育成・外国語教育推進
○ICT の効果的な活用 ○幼児期教育の質の向上
4. 学校の自律性と教職員のウェルビーイングを高める
○アセスメント能力とファシリテーション能力
○小中一貫・連携教育の推進
○特別支援教育の専門性の向上
○働きやすい職場環境の実現
5. 地域とのつながりの中で、こどもを見守り、支え育てる
○地域や社会と連携 ○健康の保持増進
○学校給食の質の向上と食育の推進
○部活動地域移行推進

【本年度の重点課題】

確かな学力と健やかな体の育成	特別支援教育の充実と豊かな心の育成	安心・安全な教育環境整備
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な内容の確実な定着 ・学習意欲の喚起と感動のある学習、協働的な学習 ・学習規律の確立と子どもの主体的な学習の両立 ・思考力・表現力・判断力の育成 ・ドリルアプリを活用した個別最適な学習の充実 ・ICTの効果的な活用と、調べ学習や話合う活動の継続的な実施 ・運動習慣の定着を図り、運動やスポーツが好きな子どもの育成 ・基本的生活習慣の育成 「時を守り・場を清め・礼を正す」 「時間を守りながら行動できる」 「丁寧な清掃ができる」 「大きな声であいさつができる」 ・学校図書館の環境整備と読書活動の充実（読み聞かせ・朝読書） 	<p>〈特別支援教育の充実〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の理解と個に応じた適切な指導充実への全校的な取組 ・個に応じたキャリア発達支援 ・適切な個別の指導計画や個別の教育支援計画等の作成及び情報共有 ・定期的なケース会議の開催 ・コグトレ活用による認知機能に視点を置いた子どもへの理解と支援 ・ユニバーサルデザインの視点を生かした環境づくりおよび授業づくり <p>（豊かな心の育成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いのちを大切にすることの育成 ・「いのちの安全教育」の確実な実施 ・「対人スキルアップ授業」「新版いのち」を使った授業実践 ・職員の人権教育研修推進（「人権教育ハンドブック」「私たちと同和問題」の積極的な活用） 	<p>〈生徒指導の充実〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム学校による生徒指導体制 ・組織でいじめの未然防止、早期発見早期対応 ・長期欠席の早期対応と未然防止の取組の推進 ・関係機関との適切な連携の強化（防災教育の充実） ・危機管理マニュアルの更新と周知。 ・学期に1回以上、年3回以上の避難訓練実施 ・危機管理体制の確立。（学校安全） ・通学路の安全点検と、登下校の安全指導の徹底 ・学校管理下における事故・事件の防止と処理及び、早期対応の徹底 ・学期に1回以上の施設や教具の点検 ・物品（薬品・教材・教具等）の保管・管理の徹底
働きやすい職場環境の実現と人材育成・資質向上	地域や社会と連携した特色ある教育	
<ul style="list-style-type: none"> ・萎縮せずに意見を述べたり、前例や実績のない試みに進んで挑戦する教職員を支援したりできる環境の醸成 ・ICT活用や校内環境整備による業務の効率化 ・定時退校日の徹底 年休取得日数：平均7日以上 ・綱紀粛正（飲酒運転撲滅、個人情報保護、ハラスメントおよび体罰の禁止、個人USB・カメラ持込禁止）の徹底 ・「教員の資質向上に関する指標」を基にした研修の参加 ・2学期制導入や授業時数見直しによる、教育課程の弾力的な運営（特色ある学校教育活動の実現） 	<ul style="list-style-type: none"> ・高生中校区学校運営協議会（コミュニティ・スクール）や、学校評価を踏まえた学校経営のPDCAサイクルの確立 ・小・中学校9年間を見通した「活動プラン」の策定と、地域人材や地域資源を生かした「総合的な学習の時間」の実践。 ・学校だよりや学年・学級通信、学校HP、tetoru等による定期的な情報発信 ・地域の教育ボランティア（生活安全パトロール隊等）や市民センター、学童との連携 	